

共生・協働のむらづくり通信

第2号

「人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会」

を目指して、

「共生・協働の農村づくり運動」

に取り組んでいます。



鹿児島県農政部

むら

鹿児島県 共生・協働の農村づくり運動推進協議会

共生・協働のむらづくり支援事業

県では、過疎・高齢化や混住化等の農村集落の実態を踏まえ、その集落が抱える課題の解決と活性化を図るための新たな取組や、既存活動の向上・拡充を図る取組を提案してもらい、共生・協働のむらづくりの取組を支援しています。

高田(たかた)むらづくり委員会

(南九州市)



集落営農実施のための話し合い



食農教育をとおした世代間交流
「かがやきフェスタ」



水田オーナーによる稲刈り作業

槇之浦西(かしのうらにし)地区むらづくり委員会

(阿久根市)



都市住民を対象とした田植え交流



地域産の野菜等直売による交流
青空市の開催



地域資源アピールのため看板作成

鶴木(つるぎ)地区むらづくり委員会

(曾於市)



集落自らが整備した
「鶴木憩いの広場」



環境教育の場として「鶴木の池」を再生



運営費確保のためにサツマイモ
植え付け

むらづくり応援隊

県では、農村集落（むらづくり委員会）を対象に地域内外の多様な主体が連携した共生・協働のむらづくりを推進するため、県内のむらづくり実践集落のリーダーやNPO法人等の関係機関団体の中から、共生・協働の農村づくり運動への積極的な理解と協力が得られる方を「むらづくり応援隊」として登録し、地域の要請に応じて派遣しています。

応援隊の派遣を要請される場合は、最寄りの市町村・県地域振興局（支所）・支庁または県庁農村振興課へお問い合わせください。

支援内容

むらおこし、地域資源の見直し、都市農村交流、グリーン・ツーリズム、農業体験、集落営農、食育普及、農産物加工、農産物販売促進、直売所運営、販路開拓、伝統芸能の復活、生涯学習、自然学習、組織育成、イベント企画立案、他

応援隊一覧表（H21.2.1現在）

順不同、敬称略

石窪 奈穂美	末永 俊浩	久留須 俊彦	石田尾 博夫	伊野 幸二	前田 清輝
大原 タツ子	東馬場 伸	小城 年久	高橋 堯志	川添 義一	榎元 一巳
大山 辰夫	新原 達児	竹崎 キヨ子	中村 周二	川前 康博	黒木 農夫太郎
川畑 英一	水溜 政典	徳田 勝章	東麻生原 勉	豊重 哲郎	速水 治美
大園 秀巳	大迫 政喜	濱田 孝一	和田 淳一郎	福留 勉	麓 才良

NPO法人桜島ミュージアム	NPO法人NPO南さつま	大隅の國やちく松山藩
NPO法人文化芸術支援NPOPandA	花渡川人の会	ねじめサミット(根占町商工会)
NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会	坊津やまびこ会	NPO法人環境福祉サービス
鹿児島県土地改良事業団体連合会	NPO法人さわやか出水女性の集い	NPO法人ジュントス
鹿児島大学生涯学習教育研究センター	NPO法人NPOいずみ	NPO法人チャレンジサポート奄美
鹿児島まちの駅連絡協議会	NPO法人霧島食育研究会	NPO法人 ディ!
特定非営利活動法人NPOさつま	NPO法人くすの木自然館	川添地区むらづくり推進委員会
特定非営利活動法人ふるさと創夢課	新現役の会(霧島支部)	中谷地区むらづくり委員会
NPO法人エコ・リンク・アソシエーション	NPO法人ローズリングかのや	

応援隊の派遣事例

テーマ：「田田太古(でんでんたいこ)の響くSLOWな都市づくり」
～ 農業、環境、史跡の保全、振興を目指して～

講演者：徳田 勝章 氏

講演内容

徳田氏がリーダーを務める薩摩川内市峰山地区コミュニティ協議会の取組(柳山アグリランド)について

受講者の感想

地域のボランティアを活用した様々な取組に感銘を受けました。また、徳田氏の峰山地区が財源確保の観点から取り組んでいる焼酎づくり(ラベルづくりを含む)をはじめ、水辺の楽校、鬼火たきなどは、子ども達に感動を与え、ふるさとを意識した取組だと感じました。

私たちむらづくり委員会も、子どもたちとともに芋ほり農業体験を行っていますが、今後は焼酎づくりまで取り組めないか研究したいと思いました。また、地域活動で感動を得られるような取組を今後も増やしていきたいです。

テーマ：「地域資源さがしのヒント」、「NPOといっしょに進めるむらづくりの5箇条」について

講演者：NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会(東川 隆太郎 氏)

講演内容

- (1) 地域資源さがしのヒント
- (2) NPOといっしょに進めるむらづくりの5箇条

受講者の感想

地域では当たり前なもの、自然なものが地域の外から見れば貴重なものであり、興味深いものでもあるということ学びました。また、様々な形でNPOの方々地域とともに地域づくり、むらづくりに関わる活動を展開していることを知り、非常に参考になりました。

今後も話し合い活動を続け、その中で地域の歴史や文化といった資源を活かしたむらづくりについても話し合いができればと考えます。また、地域外でむらづくりに取り組む様々な方との連携についても考えていきたいです。

平成19年度

鹿児島県 共生・協働の農村づくり運動推進協議会会長(知事)賞
～ むらづくり部門 ～

県では、「共生・協働の農村づくり運動」の全県的な展開に当たり、地域の自主的な話し合いを基本に、集落の推進体制の見直し等による「農村集落の再生」、都市・農村交流などを通じた「新たなむらづくりの形成」、また、耕作放棄地の発生防止及び地域資源の活用等による「むらづくりの維持・発展」の実践活動を行っている地区を表彰しています。

受賞地区の活動事例

(注)掲載されている内容は一部で他にも沢山の活動が実施されています。

新城(しんじょう)地区 (垂水市)



地区住民が協働して建てた
農産物直売所「おたけどの郷」



伝統芸能の継承
「鎌ん手踊り」



小学校と連携した農作業体験活動
「タマネギ収穫」

倉野(くらの)地区 (薩摩川内市)



地元産大豆を使用した加工品
「倉野とうふ」



伝統芸能の継承
「倉野奴踊り」



地域資源を活用した交流活動
「磨崖仏コンサート」

中谷(なかたに)地区 (曾於市)



焼酎仕込み籾米を栽培し、
新たな地域特産物に



伝統芸能の継承
「奴おどり」



近隣都市部との交流も行われる
「豊作祭り」

むらづくり通信員からの情報

農家民泊研修会を開催(鹿児島市)

鹿児島市農政総務課

鹿児島市では、鹿児島市むらづくり連絡会(旧重点及び推進地区のリーダー組織)の地区代表者及びグリーン・ツーリズム推進登録団体、グリーン・ツーリズムインストラクター等を対象に、農家民泊研修会を開催しました。

講師には、今年度、子ども農山漁村交流プロジェクトで名山小学校を受け入れた南九州市グリーン・ツーリズム協議会の上代事務局長、長谷ふるさと村の東氏を招き、取組実績についての講演と会場からの質問にご回答をいただきました。

研修会には58名(関係機関を含めると約80名)が参加し、地域活性化のための取組の一つとして、グリーン・ツーリズムへの理解促進が図られました。



尾木場めだかの郷 米作り体験(日置市高山地区)

たかやま

瀬戸口史記 通信員

6月22日、めだかの里と棚田で知られる高山地区尾木場(おこば)で、今年で5回目となる田植え体験が行われ、鹿児島市などから13組約40人が参加しました。

当日は、雨模様の中、参加者は地元農家の指導を受けながら割り振られた田んぼに一本一本手で植えていきました。

参加者の約半数がリピーターということで手馴れた様子で手際よく丁寧に植えていました。また、田んぼに初めて入る子供は、足が抜けなくなったり尻餅をついたり悪戦苦闘していました。



小学校と共催で「かがやきフェスタ(収穫祭)」(南九州市高田地区)

たかた

西次雄 通信員

11月16日、第8回の「高田かがやきフェスタ」が行われました。

収穫祭である「高田かがやきフェスタ」では、子供たちがむらづくり委員会の方々とともに、1年間かけて育てた、じゃがいも・にんじん・だいこん(1・2年生)、もち米・うるち米(3・4年生)、そば・さつまいも(5年生)、大豆・さつまいも(6年生)を調理して訪れた方々に試食していただきました。

出来上がった料理は、豚汁、ソバ、いも天、おにぎり等です。むらづくり委員会も焼肉バーベキューで参加しました。

また、昔懐かしい農業機具を利用した農作業を体験しました。



レイクグリーンパークで「池田校区郷中わくわく体験塾」(指宿市池田地区)井元俊文 通信員

いけだ

「池田校区郷中わくわく体験塾」が同実行委員会の主催で行われました。

当日は、開塾式の後、池田校区公民館からレイクグリーンパークまで約2キロメートルを歩いたあと、廃油を使ってキャンドル1,000個を作成。昼食を挟み、新永吉の棚田の下池田湖畔まで行き、そこから、レイクグリーンパークまでおよそ1時間かけて手こぎボート4艇で横断しました。その後、テント7張りを設営し、子ども達全員で夕食のカレーを調理しました。そして、本の読み聞かせ・キャンドルライト・星空観察会等が行われました。

子ども達にとっては、この広いレイクグリーンパークでの諸行動は、一生忘れられない思い出を作ったことと思います。



なかつがわ
にぎやかな50年前の「大念仏踊り」の復活に向けて(さつま町中津川地区) さつま町農政課

今年もさつま町中津川地区にある大石神社の大祭で「金吾様踊り」が奉納されましたが、同地区では「金吾様踊り活性化実行委員会」が中心となり、昭和30年の奉納を最後に途絶えている「大念仏踊り」の復活に取り組んでいます。

現在、昔を知る高齢者による踊り・所作の復元や20～30歳代の踊り手の選定を行っています。

また、中津川地区の子どもから高齢者までが参加したカライモづくりを行い、「大念仏踊り」復活に向けた資金の一部に充てています。

このような「大念仏踊り」復活を通じた活動が伝統文化の継承はもちろんのこと、地域の活性化につながっています。



おさき
尾崎いきいき祭り(阿久根市尾崎地区)

阿久根市農政課

ボンタン栽培の主産地である尾崎地区で、12月14日に「第5回むらづくり祭り」が尾崎地区むらづくり委員会の主催で開催され、地区民と都市住民の交流を図りました。

イベントでは、ボンタンや農産物・農産加工品等の直売、おにぎり・豚汁の試食、阿久根市特産品の販売が行われました。

また、13日からボンタン狩りも同時開催し多くの来場者でにぎわいました。

12月14日の同日に「あくねボンタンロードレース大会」も開催され、尾崎地区がハーフマラソンのコースになっており、ランナーたちはたわわに実ったボンタンを眺めながら爽快に走っていました。



すみよし
蛭を観る夕べの開催(始良町住吉地区)

始良町農政課

「蛭を観る夕べ」が住吉自然保全会の主催で開催されました。

当日は、始良町内外から50人程度の参加者があり、ホテルの生態や環境についての勉強会がありました。

住吉自然保全会では、捕獲したホテルを飼育器内で産卵させ、幼虫を飼育し、集落内の子供会、校区内外の小学校と連携して、集落内の水路にホテルの幼虫を放流するなど交流活動に繋がっています。



ひらいずみ
地区内いも植え交流(大口市平出水地区)

大口市農林課

昨年度から実施しているいも植え交流を行いました。

各集落の子供会と老人会との交流であり、参加については、集落の子供による放送での呼びかけが好評であり参加率もよいため、小学生が有線放送を利用して呼びかけています。

集落の老人・子供(小学生)・PTA等60人が参加し、子供達は地域のおじいちゃん・おばあちゃん達にいもの植え方を教わりながら会話を楽しんでいました。

平出水地区では、地域内の老人会と子供達との交流に積極的に取り組み、ふれあいを大切にしています。



十五夜綱引き祭り・地区民総出の綱練り(錦江町馬場地区)

荒木義文 通信員

平成19年に「十五夜綱引き祭り」を45年ぶり復活させ、今年度も去る9月13日に地区内の児童公園で復活第2回目のイベントを開催しました。

当日は朝から地区民総出でカヤ引き、カズラ採り、そして綱練りと作業を行い、直径30cm長さ30mの立派な綱が完成しました。

綱引き大会は地区内10集落の対抗戦で行なわれ、集落ごとに張られたテントからは大声援が送られました。

地区民約400名が参加しての十五夜綱引き祭りは、地域づくりの一大事業として、今後も継続していかれることでしょう。



中谷地区 夏祭り(曾於市中谷地区)

八木量廣 通信員

むらづくり委員会と公民館の共催で、その鹿児島農協中谷事業所広場において毎年恒例の夏祭りが開催されました。

歌謡ショー、カラオケ大会、花火大会などが開催されるとともに、露店では、焼鳥・ガネ(かきあげ)・おにぎり・焼酎・ビールなどが原価に近い価格で販売されるなど、お盆の帰省客を交えて約600人もの人々で賑わいました。



第1回菜連会(さいれんかい)主催の朝市を開催(屋久島町宮之浦地区)

有川恵 通信員

7月13日、屋久島町宮之浦地区のNTT前広場において、午前8時から菜連会主催の朝市が開催されました。

今年は天候に恵まれ、夏野菜の出来が良く、売台にはナスやピーマン、キュウリ、カボチャ等に加えて、切り花やパッションフルーツなどが山積みされ、また、らっきょうの漬物、名物の首折れサバやトビウオの塩干し、さば節等の加工品も販売されました。

当日は、大勢の買い物客で賑わいました。



水の恵みに感謝「第18回ジッキョヌホーまつり」(知名町瀬利覚集落)

南郷信裕 通信員

瀬利覚(せりかく)集落で、7月19日、第18回ジッキョヌホー(瀬利覚の川)まつりが開催されました。

ジッキョヌホーは石垣に囲まれた昔ながらの面影を残し、集落のシンボルとして、現在も住民の憩い場・水遊び場などに利用されています。

今年は【平成の名水百選】に選ばれたこともあり、会場にはたくさんの人々が集まり、わき水の流れるほとりて、伝統芸能の獅子舞や踊り・島唄などの郷土芸能を楽しみました。



子ども農山漁村交流プロジェクトがはじまりました。（平成20年度～）

このプロジェクトは、学ぶ意欲や自立心，思いやりの心，規範意識などを育み，力強い子どもの成長を支える教育活動として，農林水産省，文部科学省，総務省が連携し，小学校における農山漁村での長期（1週間程度）宿泊体験を推進するものです。

平成20年度の実績

平成20年11月17日(月)～20日(木)に鹿児島市立名山小学校の児童が，南九州市川辺地区において農家等に宿泊し，農作業などを体験しました。

期間中は雨が降るなど天候には恵まれませんでした，子どもたちは，受入農家の方々のふれあいや，イチゴ・トマトの管理作業，酪農などの農作業，昔ながらの農機具を使っての水稻の脱穀，きなこ作りなど，いつもの生活では経験できないことを体験しました。



イチゴ栽培農家での管理作業



農家での宿泊体験



高田小学校との交流



昔ながらの農機具を使った初すり

むらづくり通信

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/index.html>

TEL:099-286-2111(内線3109)